



# 根堀台だより

平成30年2月14日

第 95号

校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

## 新入生体験入学 31名の新しい仲間と



「数学」は難しいかな？



保護者の皆さん

2月13日(火)の午後、来年度入学予定者を対象に、「体験入学・保護者説明会」をランチルームで行いました。吹雪の舞う大変寒い日でしたが、由利小の6年生は大変元気で、初めて体験する数学の授業にも積極的に取り組んでいました。

子どもたちの体験授業中は、保護者の皆さんは説明会で、入

学までの予定の確認や諸準備、入学後の学校生活全般について説明に熱心に耳を傾けていました。

その後は、生徒会執行部による学校生活に関わる説明と研究主任の猪股教諭による中学校の学習内容についての説明を行いました。2年生の生徒会にとっては初めての大きな仕事でしたが、緊張しながらも大変上手に説明していました。また、猪股教諭の説明も大変分かりやすく、家でのゲームの時間と学習成績の関係についてのお話では親子で頷く姿も見られました。しかし、毎朝自分で起きられる人が少ないのには驚きました。中学校入学までに生活習慣の見直しが必要だと感じました。

当日は由利本荘警察署の〇〇さんから「インターネットに係わる講話」がありましたが、親子できちんと使用上のルールを確認することの大切さやツイッターに係わる事案など、大変有意義なお話を聞くことができました。

最後に〇〇〇〇さんと〇〇〇〇さんの2人が「しっかり先生の話聞いて授業に臨みたい」、「家庭学習など自分でしっかりと時間をコントロールできる人になりたい」と中学入学に向けて大変前向きな感想を発表してくれました。4月から「チーム由利中」の仲間となる31名の頑張りに期待しています。今から楽しみです。



生徒会執行部の頑張り



〇〇さんと〇〇さんの発表

# こころの健康づくり教室 〇〇先生をお迎えし



講師の〇〇〇〇先生



こだまくんを抱っこする



受精卵の大きさを体感する

2月13日(火)の3校時、在宅保健師の〇〇〇〇先生を講師にお迎えし、1年生を対象に「こころの健康づくり教室」を開催しました。この講座は毎年1・3年生を対象に、「命の大切さや男女の性の違いの理解を深め、心身共に健康で安全なライフスタイルの形成・確立を目指し、適切な行動選択と意志決定ができる資質と能力を身に付ける。」ことをねらいに実施しています。

〇〇先生から最初に「自分が生まれた時の体重」について質問がありましたが、クラスの半数くらいしか知っておらず、体重3キロの「こだまくん」人形を抱っこして「重いな」とつぶやいた子どももいました。

次に、「思春期を色で言うと何色になりますか」という質問では、「黄・青・緑・赤・ピンク・黒」の6色が選択肢として出されたのですが、子どもたちは予想外の色を選んだりして大変驚かされました。

〇〇先生は思春期になると誰もが「体に大きな変化」がおこること、そして体の変化に伴って「心も成長させること」、さらに「身の回りの整頓・食事の準備・後片付け・洗濯」など「生活能力」をしっかり身に付けることが、本当の大人になることだとお話しされました。その際、何人かの子どもたちが「私も家でやっています」と意思表示をしてくれました。最初から上手にできないことが多いのですが、失敗してもいいから是非ご家庭でも「家事」などに挑戦させて欲しいものです。

また、〇〇先生から「性的少数者」であるLGBTについてもお話がありました。最近、生まれながらの性別にとらわれない「性別のあり方」が見直される傾向にあります。調べてみると、現在、世界のLGBTの割合は、成人約7万人のうち7.6%(約13人に1人)が当事者であるというデータがあります。これは日本人における左利きや、血液型が

AB型の人と同じ割合でそうです。最近ではテレビなどでも話題になったりしていますが、子どもたちにとって「理解を深める」「差別をなくす」教育が求められていることを実感させられました。

〇〇先生は、お母さんのお腹にいたときの心音を聞かせたり、命の源である受精卵の大きさを子どもたちに実感させることで、「生まれること」の意味や意義について考えさせながら、親から子へと「つながっている命」、そして人間一人一人が「命ある存在」として、大切な命を「引き継ぐ役割」を担っているのだとお話を結んでくれました。

インターネットの発達により、情報が氾濫する今の時代では、性に関する情報に触れることは避けようと思っても避けることが難しいのが現状です。しかも、そこから得る情報が必ずしも正しいものとは限りません、「性は命の始まりである大切なこと」として捉え、正しい知識を身に付けることは「自分自身」や「異性」を大切にすることだということをしっかり押さえながら子どもたちと向き合っていきたいものです。